

沖福連 家族大会 2021

沖縄と全国の高校生が発信する 精神疾患を抱える親を持つ子どもたちへ 私たちができること

”精神疾患で苦しんでいるのは当事者だけではない”

“精神疾患を持つ親を持つ子どもに目を向けて”

『ハピンちゅ OKINA 輪(こどもぴあ沖縄)』は、高校生が発起人となり、そこに大人も加わって沖縄らしく「ゆいま〜る」の心で、沖縄県内で精神疾患を抱えている親に育てられた子どもの立場のピア(仲間)が集まる場をつくろうと動き出しました。

ヤングケアラーという言葉がメディアで見かけることも珍しくなくなり、昨年より埼玉県を皮切りにいくつかの自治体では「ケアラー支援条例」といったものも制定されています。

こどもぴあという場づくりに、参画するメンバーたちはどのような願いを抱いているでしょうか。細分化していく「家族会」のかたち、つながることに困難の伴うコロナ禍、加速する少子高齢化——絡み合う時代背景も踏まえながら、若い当事者たちと、ともに考えていきましょう。

10.23 (SAT) 14:00~16:00

オンライン (Zoom を活用)

(13:30 より入室可)

<内容>

- ・オープニング
- ・こどもぴあの紹介
- ・精神疾患のある親を持つ
子どもの立場の体験談
- ・トークセッションなど



こちらの QR コードからも申し込みます

<対象> 興味・関心がある人ならどなたでも

<参加費> 無料

<申込> Google フォーム、もしくはメールで(名前・連絡先:TEL/メール・立場・期待していること)
sienn0804@yahoo.co.jp

<申込締切り> 10/20(水)

※沖縄県内では、配信を視聴できる会場も数か所に設置する予定です。

インターネット環境のない方、機器の操作が難しい方などはご相談ください。

<問い合わせ連絡先> 沖福連 098-889-4011 (増山、比嘉)